

図書名：「広島人あるある」 著者：

出版社：

住所：広島県三次市君田町東入君 19361 番地2 TEL(0824)53-2008

三次市立君田中学校 第2学年 <氏名>宮本 颯太

それぞれの都道府県には、他の地域にない文化や習慣があることは、テレビの番組で知っていた。そこで、「他県から見て、広島ってどんなイメージがあるんだろう。」と考え、この本を読んでみたいと思いました。この本は、その名の通り「広島人のあるある」を集めたものです。広島人のよいところ、面白いところ、珍しいところなどを題材にしています。広島人である私も知らないようなことや思わず笑ってしまうような内容がたくさんありました。その中で、私が印象に残った「あるある」は、「広島の北部ではワニを食べる。」です。私の住んでいる県北ではワニを食べる習慣があります。ワニと言ってもサメのことであることはもうみんな知っていると思います。大人の方は刺身で、子供は揚げ物で。学校の給食でも出されることがたまにあります。パンにはさんでバーガーで食べることもできます。このことが取り上げられていることはうれしかったです。他には「広島は海水浴もスキーもできるすばらしい県」や「広島にはこれといったご当地キャラがない」です。確かに共感できるものもありました。

この本には、240個も「広島人あるある」が詰まっていて、楽しめる内容がいっぱいです。自分でも知らない「あるある」があり、意外でした。私に、もっと広島について知りたいと改めて思わせてくれる本でした。